**第２回おおさかスマートエネルギー協議会 事業者・家庭部門会議**

 **議事概要**

**（１）日　時：**平成31年３月15日（金)　14時00分から16時00分まで

**（２）場　所：**大阪府咲洲庁舎41階　共用会議室⑥

**（３）出席者：**

**【府民団体】**

　　なにわの消費者団体連絡会

**【エネルギー供給事業者】**

　　関西電力（株）、大阪ガス（株）、オリックス（株）

**【消費者団体・環境ＮＰＯ】**

　　公益社団法人全国消費生活相談員協会、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサ

ルタント相談員協会、NPO法人大阪環境カウンセラー協会、NPO法人地球環境市民会議、

NPO法人木づかい倶楽部、NPO法人ノウハウ会、大阪ベンチャー研究会、NPO法人とよなか

市民環境会議アジェンダ21

**【国・自治体等】**

　　近畿地方環境事務所、堺市、豊中市、茨木市、大阪府地球温暖化防止活動推進センター

**【ファシリテーター】**

　 （有）ひのでやエコライフ研究所　代表取締役　鈴木 靖文

**（４）概要および意見等**

**①固定価格買取制度等について**

**＜太陽光発電の買取期間の満了について＞**

○概要

・太陽光発電の固定価格買取制度の満了について説明し、国及び大阪府の広報等の対応状況

と、家庭の余剰電力の買取りを発表している事業者について紹介した。また、制度満了の周知につ

いて参加団体へ協力を依頼した。

　 　○主な意見等

　　　　・国は固定価格買取期間の延長を考えているのか。

　　　　　⇒今のところ考えられていないと聞いている。基本的には約10年間で太陽光発電設備の初期費

用が回収できる単価設定になっており、消費者への買取制度による賦課金増加の問題や再エネ

の自立化等の動きもあるため。

**＜関西電力の取組みについて＞【関西電力株式会社】**

○概要

・社会全体の電力需給の変化について説明し、現在は再エネ等の導入により、電力需給の調整が

必要になっていることを説明した。

　　　　・電力調整の一つの手法として、バーチャルパワープラント(VPP)について仕組みを説明し、関西電力

の取組みについて紹介した。

　　　○主な意見等

　　　　・東日本大震災以降の電力が不足していた時代は、電力の確保としてVPPが必要だったが、省エ

ネにつながるわけではないため、今の時代にどのような場面で必要になるか。

　　　　　⇒全国的に再エネが増加し続けると、九州の方で出力制御が発生したこと等、電力の需給バラン

スが崩れることが予想される。電力を効率良く活用するためや、固定価格買取制度満了の案件

に対応する可能性としてVPPの検証を進めている。

**➁再エネ・省エネの普及促進について**

**＜ZEH宿泊体験について＞**

○概要

・大阪府地域産材活用フォーラムが主催で大阪府やハウスメーカー等が協力して実施したZEH宿

泊体験について、イベントの概要説明や参加者の感想について紹介した。

**＜家庭の省エネ・エコライフスタイル推進強化事業について＞**

○概要

・今年度の新規事業として、家庭の省エネを進めるための個別対応型省エネ相談会等を実施した

本事業について、事業概要及び今年度の実績を説明した。また、来年度も継続して実施することを

説明した。

　　　○主な意見等

　　　　・環境に関心がある人しか相談会に参加しないように思う。効果検証のアンケートを実施しているが、

その結果が偏らないか。

⇒府民に簡易的な家庭の省エネ診断をして、家庭で省エネの取組みをするきっかけづくりのために

実施した。

⇒省エネ診断を実施する側として参加したが、会場では他にもブースが出されており、ご家族のお

　 子様が他のブースを回っている間に、保護者が省エネ診断を受けていた。どちらかというと関心

がない方が受けていたと感じた。

**＜大阪府環境交流パートナーシップ事業について＞**

○概要

・環境活動に取り組むNPO等の相互交流の機会を創出し、主体的かつ自発的な環境活動を支

援するための本事業について、今年度実施した４回のセミナー及び交流会を説明した。

**＜豊中市における地球温暖化対策の取組みについて＞【NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21】**

○概要

・豊中市からの委託事業について、省エネ相談会や出前講座の実施等について、今年度の取組み

内容を説明した。また、本事業の４年間の成果及び課題について説明した。

　　　○主な意見等

　　　　・エネルギー「見える化」モニターの取組みについて、モニターの開発者はどこか。また、設置のための専

門家は必要か。

　⇒現状使用している機器は中国計器工業が製造したもの。設置については、コンセントから電源

をとる場合であれば専門家は必要ないが、分電盤から新たに電源を増設する場合には電気工

事士の資格が必要である。その他に課題を挙げると、この機器を開発した中国機器工業やエネ

ゲートが販売を終了している。

　　　　・省エネチャレンジキャンペーンの取組みについて、いつの時期にやっているのか。真夏や真冬に実施し

てはどうか。

　　　　　　⇒数年前は真夏にしていたが、今年度は冬のはじめに実施しており、11月15日を含む１か月

　　　　　　　間の期間だった。冬の省エネ効果が高いためこの時期にしたが、豊中市のエコポイントの使用期

限や電力会社の検針票の届く時期等により、真冬に実施できない。

**③環境教育の取組みについて**

**＜平成30年度エネルギー・環境教育の取組みについて＞**

○概要

　　　　・今年度に大阪府が実施した環境教育教材冊子「考えよう！地球温暖化とエネルギー」の配付結果及び地球温暖化とエネルギーに関する出前講座の実施について報告した。

**＜茨木市環境教育ボランティア・サポーター登録制度について＞【茨木市】**

○概要

　　　　・事業概要及び登録者数、派遣者数等の実績について説明した。

　　　　・ボランティアの講座メニュー及び研修会、市教育委員会等への広報・周知方法について説明した。

　○主な意見等

　　　　・学校現場でセクハラやパワハラ発言等の問題があるため、ボランティアに指導ができる仕組みを作る

べきだ。

　⇒研修という形にはしていないが、個別に指導している。

　　　　・幼稚園や保育園等の小学校以前に出前講座を広げる予定はあるか。

　　　　　　⇒依頼があった幼稚園や保育園で個別に実施している。

　　　　・中小企業と連携した環境教育も取り組んでほしい。

**④温暖化対策の取組みについて**

**＜平成30年度温暖化「適応」推進事業実施状況について＞**

○概要

　　　　・大阪府が実施した今年度の本事業について、イベント及び学習会「適応塾」の開催について説明

した。また、「適応塾」で実施したワークショップの意見等について紹介した。

**＜猛暑対策の推進について＞**

○概要

　　　　・今年度に大阪府が新規事業として実施する猛暑対策の取組みについて、暑さ指数の活用促進及

び暑さ対策セミナーの開催、府民の暑さ対策の取組み促進について説明した。

・今年度実施した暑さ対策に関する有識者会議の開催やクールスポットモデル拠点推進事業につい

て、来年度も引き続き取り組むことについて説明した。

　　　 ・イベントや紙面等と連携した猛暑対策の啓発について、参加団体に協力を依頼した。

　○主な意見等

　　　　・消防署等がすでに地域で取組む熱中症の呼びかけを行っているため、ぜひ連携して取組んでほしい。

以上